

時期の見極め 慎重に



東京都立中部総合精神保健
福祉センター生活訓練科長
の菅原誠さん（精神科医）

「事業者側」「主治医側」「休職者側」の三つの側面がある。従職を巡る問題は主に「事業者側」「主治医側」「休職者側」の三つの側面がある。

復職支援の取り組みは広がりつつあるが、大企業や都市部が中心で、中小企業や地方では進んでいない。復職しても、時間短縮勤務制度などがない職場も多い。復職支援を行う施設数は不足しており、各地の精神保健福祉セン

復職を巡る問題は主に「事業者側」「主治医側」「休職者側」の三つの側面がある。とが必要だ。

同僚は自然な態度で



就労支援プログラムを開発した
富士ソフト企画(神奈川県)の力
ウツセラー・佐織春雄さん

復職したといつても、能力が100%回復しているわけではない。本人の不安も大きい。復職直後は、配慮が必要だ。

勤務時間については、本人にやる気があるても、最初は短くして徐々に延長していく。時間外労働は原則的にさせないように。

復職直後には「適当に考えてやつておいて」などのあいまいな指示は避けること。心理的負担となる。

復職からおおむね6か月後、人事異動などで環境に変化がある時が最も不調をおこしやすい時であることを念頭に置き、主治医や産業医らの意見も聞き、回復具合を見極めながら、徐々に仕事を増やしていくこと。

だれかの指導をする仕事は、本人の負担にならないかを考え、本人とも相談して慎重に行う。仕事で成果が出た場合は、大げさではなくてもいいから、しっかりと認めてあげてほしい。職場の役に立っているという実感が、重要だ。

一方、復職者を迎える同僚は、過干渉や、逆に腫れ物にさわるような態度は避けること。過度に「丈夫ですか」という言葉を掛けろと、「自分は大丈夫じゃないのか？」と思わせることになる。自然に接すればいい。

(この連載は、伊藤剛寛、板東玲子が担当しました) (おわり)

くらし ■ 家庭

夫が2月に定年退職した。友人の夫たちの定年後の行動を聞

ーを習うというので、「うちの夫も人畜無害だから入れて！」

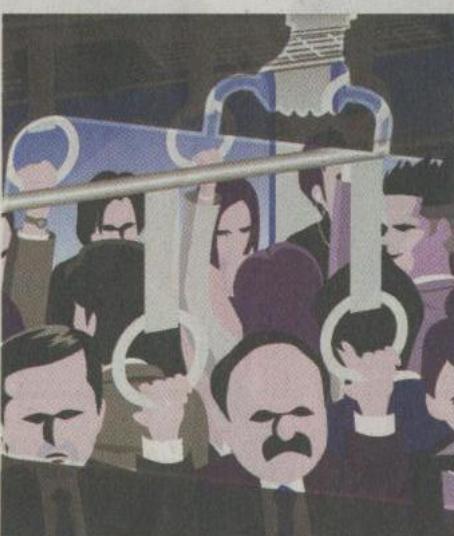
京都ユースナーチャーは、10代の旅を「ホームページ」「旅のコースを設けのガイドブック」とができる。10代の一人やグループで知らない人達が、人生体験をう狙い。ホームページは「自転車旅」つたり」「路地商店街が面白」「何度も行ってしまうお寺ベニス」などが、記事とともに地図で紹介されている。京都住の10～20代の生ら約50人が、京都の街を材して設定した、薦めの旅コースから厳選し

京都は、10代で「京都」

「エース主の旅を
トジ「言
を開設し
スを設
イドバ
る。19
ヤグル
ない人達
主体験を

ノ ハ ハ ハ

専門家に聞く



イラスト・鈴木